

○市長（比田勝 尚喜君） このろくべえにつきましては、先ほども答弁いたしました。対馬のスローフードとして味の箱船にも登録もされております。そのような関係もありまして伝統的な食品ということで今後も保存をしていきたいと思っておりますが、ただ、要は継承者がだんだん少なくなっているということで、その原因はというのが、やはり芋の生産量の減少ももちろん大きな原因でありますけども、作った方たちの収入と申しますか、そこがなかなか少ないというようなことが大きな原因ではなかろうかというふうに私は分析しております。そこで指示をしていますのが、要はその生産者から店に卸すときとか、そういったときに買い上げてもらうときにその買い上げてもらった領収書等を基にして幾らかバックで生産者に補助することができんかというようなことでそこら辺の研究をしてくれというようなことで今、指示をしているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 10番、小島徳重君。

○議員（10番 小島 徳重君） これ、先日、朝日新聞の声の欄に載りました。若い頃に対馬に赴任された方がそれを食べてその味が忘れられないということです。心も体も元気もりもり、ろくべえは家族の温かさを感じる麺となりましたというような記事が載りました。

それからよりあい処つしまですね、ここもいつも大体飲み会、宴会したら終わりにろくべえが出よったみたいですね。それがなくなったから行く楽しみがなくなりましたという福岡の愛好者の方の声も聞いています。対馬島内でもすぐ行って食べられない、欠品というのが出ていますので、十分実態を踏まえてよろしくお願いをしたいと思います。

以上で終わります。

○議長（初村 久藏君） これで小島徳重君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開は2時10分からといたします。

午後1時55分休憩

午後2時10分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） よろしいですか。今日は標準語でしゃべりたいと思います。

初めに、市長として2期目を迎え、3年7か月を終えようとしています。昨日の定例会初日に核ごみ受入れが8対10の僅差で決定いたしました。市長は、本定例会最終日には核ごみ受入れの御決断をなされると思います。このことにつきましては、市長御自身が懸念されていた市民の分断を招いていますので、対馬市のトップとして市民の皆様へ安心、安全な生活へ導いてい

ただくことを市長の正しい御判断を切に御期待申し上げます。

私自身は、核ごみに対する見解の相違に終止符を打つべく、6年以上共に行動してまいりました組織を離脱し、本年9月より一人会派として受理していただきましたので、2期目の残任期間を今まで以上にしっかり取り組んでまいる所存でございます。

さて、本日は本市の核ごみ関連報道に対する反響と今後考えられる対策をテーマに、5項目を質問いたします。

1点目は、本年5月頃より今日まで国内外を問わず、本市の観光産業が増加傾向にあります。万が一核ごみに受入れがこのまま進みますと、観光産業の要でもあります車両などのレンタル事業、宿泊施設、飲食店、食料品などの小売業を含め、事業収入や税金など減益・減収が予想されます。概算でもよろしゅうございますが、観光産業にどの程度影響があるのかお尋ねをいたします。

2点目は、対馬出身者で組織されています東京対馬会、関西対馬会、福岡対馬会の会員の方々は、このたびのふるさとへの核ごみ報道に関し、どのような反応を示されているのか、何か情報がございましたらお願いを申し上げます。

3点目は、核ごみ報道や議会における請願審査特別委員会での動向について、多くの市民の皆様は落胆されていると思いますが、市民感情など市民の声をどのように捉えられているのかお尋ねをいたします。

4点目です。3点目同様の質問となりますが、このたびの核ごみ報道によって、島内外から相当数のクレームが寄せられたと思いますが、最近までの受理件数と上位を占めるクレーム内容をまとめられていましたらお願いをいたします。

最後の5点目です。対馬市CATVにて請願審査特別委員会が再放送されましたが、市民の中には核ごみ受入れの第1段階の文献調査の賛否が論じられている中で、概要調査・精密調査のプロセスを経て、最終処分場への決定に進んでいることに改めて驚愕をされています。このような動向を察しますと、8月16日開催の議員間討議の結果、建設業界団体及び対馬商工会の請願書採択を受けて、担当課に対し、今後も多くのクレーム受理が想定されます。万が一核ごみを受け入れるという市長の御決断によっては、担当職員の円滑な業務遂行、風評対策など専門部署の創設が必要と思いますが、お考えはどのような状況でございますか。お尋ねをいたします。

以上5点、よろしく願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 伊原議員の質問にお答えいたします。

本市の核ごみ関連報道に対する影響と今後の考えられる対策との御質問でございますけれども、まず御質問の答弁の前に、この御質問にあります「核ごみ」という表現についてでございますけ

ども、誤解を招くおそれがありますので、「放射性廃棄物」として答弁をさせていただきます。

まず、1点目の放射性廃棄物を受け入れた場合の風評被害等による各事業の減益・減収について概算でどのくらいが考えられるかという質問でございますけれども、全国で初めての放射性廃棄物の最終処分場を設置するわけでございますので、何らかの影響等があるとは考えてはおりますが、しかしながらどのような事業でどの程度の額の影響があるのかという点につきましては、現時点ではなかなか想定ができません。そのような想定が必要な場合には関係者等の意見等も踏まえながら、調査、検討を行う必要があるものと考えております。

次に2点目の東京対馬会などの会員の反応についてでございますが、今年度、私は東京対馬会と関西対馬会の総会に参加させていただきましたが、対馬で議論されている放射性廃棄物最終処分場の文献調査受入れなどの問題につきましては、様々な御意見をいただきました。すばらしい自然、文化を残していくためにも対馬に誘致すべきではないという御意見や、将来の対馬を考えたい場合、経済対策として誘致すべきではないかといったような御意見などをいただいております。

また、対馬出身者や対馬を訪れた観光客などからお手紙や電話、メールなど多くの意見が寄せられている状況であります。

次に3点目の放射性廃棄物報道に対する市民感情についてでございますが、市民からも多くの意見をいただいております。私としましては、推進する立場の方、反対をする立場の方、双方とも将来の対馬市のことを考えての御意見であると考えております。それぞれの思い、御意見を参考にさせていただきながら、私自身も放射性廃棄物の処理についての認識をさらに深め、放射性廃棄物最終処分場に係る文献調査受入れの判断を行いたいと考えております。

次に4点目の市役所へのクレーム受理の実態についてでございますが、クレームという形ではなく御意見として、市役所のほうには対馬市に関する放射性廃棄物の問題の新聞記事、ニュース配信した翌日には、5件から10件程度の電話による御意見があっている状況であります。件数までは集約はしてはおりませんが、多くは市外の方からの御意見で、対馬市出身者や対馬に観光で訪れた方、放射性廃棄物処理問題に関心を持っている方などです。

御意見の主な内容としましては、推進的御意見として、この放射性廃棄物の処理問題はどこかの自治体、地域で対応しなければいけない日本全体の問題であり、対馬市のほうで御検討いただきたいなどの意見や、反対的な御意見として、農林水産業や観光産業などの風評被害や放射性廃棄物の処理において対馬の自然、文化を損ねる可能性があるのではないかといた御意見などをいただいております。

最後に5点目のクレーム全般に対する専門部署の創設についてでございますが、現在この放射性廃棄物の関連につきましては、総務部総務課で対応をしているところであります。様々な問合せ、意見等が寄せられ、対応業務が増えていることは事実であります。現段階では対応できて

いる状況であります。今後、様々な状況、また動向にもよりますけども、必要な場合には専門部署等の設置も検討する必要があるものというふうに考えております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） どうも。そしたら廃棄物ということで改めさせていいですか。この言葉でちょっと進めさせていただきたいと思います。

観光産業関連事業への影響につきましては、当然、算定は非常に厳しいということは重々理解できました。事業収入も税収も含めて、算定根拠もないところで算出ということになりましょうから、私もこれはちょっと厳しいなと思いつつ、一連の流れの中でお尋ねをした状況でございます。例えば今回のこの廃棄物についての交付金の話が昨日もありましたけれども、文献調査とそれから概要調査で数十億というお話がございましたが、これらの交付金につきましては当然ひもつき交付金ですから、自由な支出は不可能だと思います。このあたりは、もし交付金が入ればどのような状況下で支出を考えていらっしゃるでしょうか。もしそういったお考えがあればお願いしたいと思います。部長でも。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 確かにこの交付金はたしか電源立地交付金の分野であろうかと思っております。この電源立地交付金につきましても、他の自治体ではソフト関係に使用されたり、また基金にされたりしているというような情報はいただいておりますけども、今現在、私、対馬市ではもし入ったら何をしようかというところまではまだ考えておりません。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 私自身も可能性ゼロということで物事を今後、進めていただければという気がしております。聞こえていますね。

それから、先ほど申しました本年5月以降の国内外からの観光客のデータ、このあたりは何か8月ぐらいまで、直近までで結構ですけど、国内外からの観光客数の実数がございましたら、部長さんでもよろしゅうございますけど、お願いします。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、阿比留忠明君。

○観光交流商工部長（阿比留 忠明君） お答えいたします。

令和5年の韓国からの入国の計が5万4,632、8月末現在です。国内のほうにつきましては、ちょっと手元に数字がございませんので、後ほどお知らせする形でよろしいでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） すみません。国外からの観光客は、5月から8月までの数字がこれなんですか。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、阿比留忠明君。

○観光交流商工部長（阿比留 忠明君） 2月から8月までの数字となっております。

○議員（6番 伊原 徹君） 8月まで、すみません、数値は何名とおっしゃいましたか。

○観光交流商工部長（阿比留 忠明君） 5万4,632です。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 結構な方々がお見えで、特に外国人の方はこういった反応を今なされているか分かりませんが、昨日のこの定例会のソーシャルネットワークサービスあたりでも相当数いろんな御意見が出ておりました。特に今、外国からのお見えの方々も当然この情報は入っているんじゃないかと思っております。これだけの5万、半年くらいですか、約5万5,000人ぐらいの方々がお見えですので、この数値を今後、決してマイナスにならないように、この動向を注視しながら市長の御判断ということはもう考えていらっしゃると思っておりますけれども、やっぱりこの数値は重視しなければいけないんじゃないかと思っておりますので、是が非でもよろしくお願いをいたします。

それから2点目、東京・関西・福岡対馬会の方々の反響ということでお話がございましたが、それぞれ賛否両論ということで、これについては中身についてもどうのこうのということはお尋ねしませんけれども、今年の8月末現在ですから、この廃棄物に関しての対馬を考える会による文献調査に反対する市民の会による署名活動では、島外から1万7,000人以上の方々の御賛同がっております。この部分は若干今、増えつつあるというふうにお尋ねしております。このことにつきまして市長さんはどのような今のお気持ちか、島外からの署名活動が今、増加傾向にあるという、このことについて何かございましたらお願いしたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 先ほども若干述べさせてはいただきましたけれども、やはり島外からということでも対馬出身の方、そしてまたこれまでに対馬に観光等に訪れていただいた方々、このような方たちが中心となって対馬を守りたいというような気持ちの上から、このような署名活動をされているのではないかというふうに私自身、推測をしているところであります。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） そのような御意見を考慮いたしますと、島外で生活されている方々、対馬出身の方々、特に御先祖をそのまま今、置かれて、そして島外に行かれた方、やはり御先祖のことを思うと非常に厳しい御意見、先ほどもSNS上のお話ししましたけれども、非常に厳しい御意見が飛び交っております。これは事実でございます。そのあたりの情報は何か、部長さんでも観光部長さんでもよろしゅうございますが、何か入っていますか。ソーシャルネットワークサービスを御覧になられましたか。何か情報を確認されましたか。

○議長（初村 久藏君） 総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） 若干見させてもらったんですけど、昨日もちよっと帰りが遅い時間だったものですから、あまり詳しくは見ていないんですけど、いろんな意見があるというのは確認はさせてもらっております。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 昨日この定例会で賛成されて、議員の方々はやっぱりこのことはないがしろにできないということでもあります。新しい情報なんですけど先ほどの署名活動、9月4日現在、2万6,777、島内だけで9,441と。これだけまだまだ増え続けているということでございます。いずれにしてもこの問題は昨日、結果が出ましたので、それをどうするかということは私のほうからもあえて申しませんけれども、やはり市民の方々、島内外を問わずこれだけの方が大きな関心をまだまだお持ちと。それから、これから対馬の将来をどうすべきか、子々孫々までしっかりと今、島に生きる我々が手だてを講じなければならないとこのように感じておる。当然、市長さんも市役所の幹部の方々もそういった思いじゃないかと思っております。私自身も今の生活を是が非でも維持をしていきたいと。そして子どもに次の世代に託したい。なおかつ先祖を守っていききたい、守り抜いていききたい、このような思いでございます。このことは私だけではございませんので、これだけの2万6,777プラスアルファ、これ島外にお住まいの方はニュースソースはまだ御覧になっていないと思います。当然、昨日の定例会の状況は把握されていないと思いますけれども、非常にふるさとを思う気持ち、これはどの場所に住んでいるかも分かりませんが、多くの方がやはり懸念をされてありますので、このことは是が非でも今まで以上の安心、安全な生活ができるように手だてを講じていただきたいと思っております。

それから、次の市役所のクレームというか、御意見ということで捉えられておりましたけれども、大半が5件から10件程度、激励とか、それから賛成派のほうは少数だと。やはり少し反対が多いということで捉えましたが、このことを踏まえて5点目に進めたいと思っております。

5点目です。専門部署の創設ということで、風評対策、これは今後、おそらく進行するんじゃないかと思っております。もしこのまま進みますとですね。御承知のとおり、福島沖の処理水放出によって、中国の魚介類の輸入停止がっております。本市の中国への魚介類の輸出も今まであっておるんですけど、このことについては何か情報は入っていますか。結局、対馬の魚介類も鮮魚も、この中国が輸入をストップした影響を受けているということは市長は御存じでしょうか。何か把握されてあるでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 対馬のほうから中国のほうに輸出がされているのが、主に高級魚であ

りますアカムツ、そしてマグロが輸出をされているというふうには私は聞いてはずっとおりまして、今回の処理水の放出によって、中国自体が日本からの鮮魚等そしてマグロ等を受け入れないということになっておりますので、おそらく対馬からのアカムツやマグロ等も処理水の放出以降は行っていないのではないかとこのふうには私は考えております。詳しいことは部長のほうに答弁させます。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） お答えいたします。

対馬からの水産物は、漁協を通じて福岡の魚市とかそちらのほうに行きますので、対馬から直接中国には輸出をしていない関係上、その間に仲介人が入る関係で対馬の水産物がどこに行っているのかというのは今のところ把握をしておりません。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 福岡市場を中継しているということで、その先については把握していないと。高級魚、マグロもそうでしょうけど、アカムツもそうでしょうけど、中国まで行っていますので、福岡市場から。全てがその影響を受けているということは御理解しとってください。

中国の過剰反応につきまして、ある程度、想定はされておりました事案でございますけれども、今、増加傾向にあります国内外からの風評被害、これを受け止めることのないよう、市長御判断の御参考になることを期待して、メールと封書で私に届いた、廃棄物につきまして、少し御紹介をさせていただきたいと思っております。メールと封書で届きましたので。

まず、メールの内容でございます。国内の電力供給源は化石燃料、ガス、太陽光及びバイオマス発電などが70%を占め、残りの30%は原子力発電で賄っていますが、12年前の東日本大震災によって、東京電力福島第一原子力発電所の事故で原発に対する不信感や不安感が強まり、原発の位置づけは大きく変わっています。2022年6月現在で西日本を中心に6か所の発電所で10基のみ稼働中ですが、原子力発電所から出る廃液をガラスに固めた固化体は、本年3月時点で約2,500本が青森県六ヶ所村と茨城県東海村で一時保管されており、今後は2万6,000本が発生すると予測されております。この固化体は300メートル以上の地下の地層処分埋設が計画されています。しかし、日本列島は多くの活断層に覆われており、地震列島として地殻変動を考慮しますと、地層への最終処分の現状を改める必要が求められています。廃棄物対策を自治体や電力会社に責任転嫁をすることのないよう、解決策はただ一つ、原子力政策の抜本的な変換です。今後、発生する2万本以上のガラス固化体が本市が最終処分場とならないよう、対馬一ヶ所村とやゆされないよう、切にお願い申し上げます。こういったメールが届いております。

それから、ちょうど昨日、お手紙をいただきました。8月16日の廃棄物最終処分場をめぐる請願特別委員会では、9対7の僅差で請願が採択されました。特に何の意見も述べないまま賛成起立された議員さんの姿にあきれています。9月12日開催の市議会では、市民が本当に望んでいる正しい決議がされることを願っておりましたが、このような結果になったことは非常に残念ということで、最後の正しい判断を市長さんがなされることを切実な願いが届いておりますので、これ今お二方からの手紙を御紹介いたしました。この件に関して何か市長のほうでございましたら。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 私のほうにもいろいろなお手紙等をいただいているところでございますし、つい先日も、日本での地質学とか地理学等の専門家の大学の先生たちが結成されました学会のほうからも書簡が参っております、日本での地層は不安があるというようなことは書かれておりました。いろいろとそのような形でお手紙等はいただいているところでありますので、これまでも申し上げてきたとおり、そういったところを総合的に判断をしてみたいというふうにしております。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） どうも。確かに学者の先生たち、地質学もそうでしょうし、いろんな学者の先生方の御意見すら聞かない今、政府の姿勢、このことについて大きな問題がある。非常に、先ほども申しましたように、プレートの上に日本があるということで、地震は起こり得ると。対馬に何十年大きな地震がないかも分かりませんが、地震は起こり得るということは、この御専門の地質学の先生方も非常に懸念されております。決して安心、安全じゃないと。それからこの専門的なお話も聞く耳も持たない国の姿勢、これはいかがなものかと私自身も思っております。先ほど魚介類のお話もございましたけれども、何か今後、大きな課題が発生した場合にどうなるかと非常に懸念を私自身もしております。このまま進んでよろしいのか。それとも市長の最終的な御判断、正しい御判断、これを市民の方々はしっかりと受け止めているんじゃないかと。おそらく27日の最終日に御決断をなされるんじゃないかと。本当は今日でも何か少しお話があるかなと思いはしておりましたけども、当然、一般質問の中ではないとは信じておりました。それはそれでよろしく願いをいたします。

それから、すみません。教育長さん。昨日、ちょっと別件ですけど、県議会のほうで昨日も質問があっただけで特別支援学校、これ念願の特別支援学校が3年後ですか、巖原中学校に開校するということが大石知事さんが表明されたということなんです、これは正しい情報でよろしいですか。すみません、突然。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 通告を受けておりませんが、今の件に関してはお答えしたいと思います。

昨日も答弁いたしましたけども、令和9年度開校ということで決定をしております。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） すみません、突然の質問で。この問題につきましては、過去にもこの議会で数人の方々が一般質問の中でお話が上がったと思います。支援学校がないために御家族で島外のほうに移住・定住をされた事実もございますので、仮に今の放射性廃棄物の問題が進んだ場合にどのような決断をなされるのか、私は非常に心配しています。結局いい御決断を大石知事がなされた、英断をなされた、このことを踏まえたと、対馬というこの地域については、また新たな教育関係が、教育の施設ができるということでございますので、是が非でも、9年ですけど、今の御家族の方々がどのようなお気持ちになっているのか、おそらく一喜一憂されてあるのか、ちょっとまだ判断しかねますけれども、非常にいいお話でございますので、ちょっと重ねての話になりますけど、市長、本当に市民の皆様のお気持ちを是が非でもお酌み取りいただいて、決断、最終日でありましようけれども、この決断を楽しみにというか、非常に心配も含めた中で市長の決断をお待ちしてある方々も大勢いらっしゃると思います。お子様も含めて。先ほども申しました特別支援学校のお子様、御家族、今まで島外移住・定住をされた経緯がございます。このことについては当然、御存じですよ。この状況を是が非でもここでストップしていきたいと、そのようなことで進んでいけばと思っております。

それから、先ほど市役所へのクレームのお話もございましたけれども、5件とか10件とか何か少ないような気がいたします。やはり一番大事なこれからの島の根幹を揺るがす大きな問題ですから、そういった記録には取っていないということなんですけれども、これはやはり今後のこともありますから、大きな問題にならないようなことは願っておりますけれども、本当に市長の正しい御判断、御決定、賜りますことを念じて、まだ時間ございますけれども、もうお疲れモードでございますので、ここで終わりたいと思います。よろしく願いいたします。どうぞよろしく願います。

終わります。

○議長（初村 久藏君） これで、伊原徹君の質問は終わりました。

---

○議長（初村 久藏君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わりました。明日も引き続き定刻から市政一般質問を行います。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午後2時51分散会